

様式2 令和元年度 清瀬市立清瀬中学校 学校評価表

学校教育目標		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	
人間尊重を基本理念に国際的視野にたち平和を愛する社会人の形成をめざして、正しい判断力と粘り強い実践力をもった生徒を育てる。健康やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる。高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる。		本校の教育目標に基づき、中学校教育を通じて中学校卒業段階における社会人基礎力の育成を目指すという視点から、育成を目指す資質・能力を「前に踏み出す力」、「チームで働く力」、「考え抜く力」（「社会人基礎力」、経済産業省）とし、あらゆる教育活動を通じて育成を図る。また、インクルーシブ教育の推進を本校の特色ある教育とし、各教科の授業や学校行事、給食、部活動などにおける、特別支援学級と通常学級の生徒との交流及び共同学習を中心的な内容とする。そのために通常学級と特別支援学級の合同学年会を行うとともに、体育行事及び文化行事の各委員会において交流及び共同学習を企画し運営する。	
目指す学校像(ビジョン)		○生徒にとって楽しく行きがいのある学校 ○保護者にとって親しみがあり、地域に根ざした学校 ○教職員にとって自己研鑽に励み、協力して進める学校	
【目指す学校像】		○正しい判断力と粘り強い実践力をもった生徒 ○健康やかな身体と豊かな情操をもった生徒 ○高い知性とたくましい創造力をもった生徒	
【目指す児童・生徒像】		○常に生徒のことを第一に考える教師 ○生徒のためという同一の視点に立って協力し、体調を許さぬ教師 ○自己研鑽に励み授業改善に取り組み教師	
【目指す教師像】			

前年度までの学校経営上の成果と課題
 命の教育、インクルーシブ教育、国際理解教育の3点の推進に重点を置いて学校の運営を行っている。前年度はインクルーシブ教育についての教員の理解を深め、より一層連携を密にした結果、集団に馴染めなかった生徒も、取り組みを進めるうちに交流するようになってきている。今後は、体験的な学習活動のカリキュラムマネジメントを行うと同時に、保護者や地域とより協働した活動をしていくことが課題である。

柱	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	
		課題と次年度以降の対策		評価	コメント
		取組指標	成果指標		
確かな学力の向上	・各教科等で生徒の自己有用感の育成に係る指導場面を意図的に設定し、生徒の主体的・対話的な学習活動を促し、学びを深める。	4	3	適	生徒が、授業の中で主体的・対話的・深い学びができるために、先生方が学校外でも、よく研修をしていることがわかります。継続して推進してほしい。
	・清瀬市学力観に基づき、論理的な思考力、基礎的・基本的な力、社会と関わる力、及びそれらを相互に関連付けた力を育成する。	4	2	適	引き続き、学習活動において論理的な思考力、基礎的・基本的な力、社会と関わる力、及びそれらを相互に関連付けた力を育成してほしい。特に基礎的・基本的な力の育成を重視してほしい。
豊かな心の育成	・第1学年で認知症サポーター講座、救急救命講習、JICA、第2学年で職場体験(介護施設・保育所等)、第3学年で赤ちゃんの子カラP、JICAを「命と人権教育」として実施する。	4	3	適	命の教育については、最優先として取り扱うものである。保護者や地域の方にも積極的な参加を促していき、地域全体で共有すべきである。
	・体験学習のねらいを「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」の育成に置き、生徒の主体性を育てる。	4	4	適	生徒がねらいについて作文に記述するということは、ねらいが達成されたということである。教員側のねらいの説明が統一されており、生徒も一丸となって体験できている。
健康やかな体の育成	・外部講師や外部指導員による講演や実技指導の機会を設ける。	4	3	適	たくさんの外部講師、外部指導員を学校に取り入れ、生徒の指導にあたっていることはありがたい。このような素晴らしい取組を、地域の方や保護者にも、案内をしてほしい。
	・セーフティ教室や薬物乱用防止教室を外部講師の招へいや生徒会活動などを通して実施し、生徒の主体性を育てる。	4	3	適	セーフティ教室は、保護者も学ぶことが多くある。保護者もたくさんの専門的な知識等を学びたいと考えており、地域の方や保護者にも、案内をしてほしい。
本校の特色①	・外部機関との連携を深め、生徒や保護者を公的な支援から孤立しないようにする。	4	4	適	困り感のある生徒・保護者を孤立させないことは、生徒の安全の確認になる。今後も外部機関と連携し、生徒の困り感を少なくしてゆく取組を継続する。
	インクルーシブ教育の一環として、各教科及び行事、部活動等、様々な場面を利用して交流及び共同学習を行う。	4	4	適	様々な生徒に対して、個に応じた支援が出来ている。清瀬中学校は、清瀬市に一つかない特別支援学級設置校であり、引き続き推進してほしい。
本校の特色②	・学校行事や体験学習における保護者との協働を推進する。	4	2	適	各行事、取組で保護者・地域の方の参画や協働は定着している。学校支援本部の設置とともに、評価基準が高くなったとも考えられる。より多くの方が協働してゆくことが課題といえる。
	・PTAが参画した行事を企画実施するとともに、本年度設置した学校支援地域本部との役割を明確にする。	4	3	適	これまでの取組を維持し、少しずつ取組を増やしてほしい。また青少協とは美化デーの他にアフリカの先生方が本校を訪問した際に昨年に続き協力してもらった。この体制をより確実なものにしてほしい。